

教育 かしま

臨時号

発行日

令和4年3月1日

発行

鹿嶋市教育委員会

連絡先

鹿嶋市教育委員会

Tel0299-82-2911 (内線522)



(電子版はこちらから)

地域の特色ある教育活動を応援し、開かれた教育環境を推進するための情報を掲載していきます。

みんなで考えようSDGs

SDGsの中でも大きな課題の一つとなっている「環境問題」を次世代を担う子どもたちに「自身の課題」として捉えてもらい、その解決に向けて自ら考え、行動できる人材の育成を目的にした授業が、今年度から始まりました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは？

「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称で、2015年9月に国連で開発されたサミットの中で決められた、2030年までに達成すべき17の国際社会共通の目標です。

この目標を達成するためには、国や自治体、企業だけではなく、皆さん一人ひとりが意識し実践することが必要となります。



▲各グループで活発な意見交換がありました

環境問題解決に向けて

自分たちにできること

鹿野中学校（山田真奈美校長）では、3年生が2学期の「総合的な学習の時間」の中で市廃棄物対策課の職員を講師に迎え、SDGsや環境問題について、アクティブラーニング（※）の手法を使って学びました。また、12月には、中学生の視点で「鹿嶋市をより良いまちにするために、自分たちができること」をグループごとに考え、発表しました。

今回の臨時号（裏面）では、鹿野中学校3年生が、市内の幼児や小中学生、大人たちなどに向けて、学んだ成果や将来に向けて皆でやっていくことなどをまとめました。

※グループワークやディベート（討論）などを用いて、児童・生徒が自ら考えて学習に参加できるようにする学習法のこと。

意識を変えて行動を変える

今回の授業の中でも、生徒一人ひとりが、SDGsや環境問題などについて、自分自身にかかわる問題ととらえて、中学生という立場でどのような解決、改善方法があるのかを積極的に考えてくれたと思います

今後も学んだことを意識し、SDGs（持続可能な開発目標）の実現に向けて、行動につなげてほしいと思います。

鹿嶋市教育委員会教育長 川村 等

私^{わたし}たちの未来^{みらい}のために、私^{わたし}たちができること



※これは私たち中学生が考えた原稿です。

大人に皆様に協力してほしいこと

**2,256,000,000,000円
(2兆2,560億円)**

これは日本国内で1年間でごみ処理のために使われている税金です。もちろん大人の皆さんが払っている税金から使われています。

鹿嶋市では、1人あたり16,109円（令和元年度）もごみ処理のために税金が使われています。

私達はSDGsなどを含めて環境問題を学び、今、私達のこれまでの行動が「持続可能ではない」可能性もあり、「持続可能な」行動に変えていくことが必要だと考えました。



私達にできることからサステナブルへ

**ごみ問題。
残り約20年・・・**

ごみ問題を放っておくとどうなってしまうのか？あと約20年で最終処分場が一杯になります。ごみが増えると埋め立てる場所がなくなり、街にごみがあふれてしまいます。ごみを気にせず街を歩けることは当たり前ではないのです。



ようちえんじやほいくえんじ、
しょうがくせいみんなにも
いっしょにやってほしいこと



2050年には、海のごみの量が海の生き物の量より多くなると言われています。海に漂うプラスチックを食べる魚→プラスチックを食べた魚を食べる人間→最終的には人間に還ってきます。そして、ごみを食べたことによって命を落としている海の生き物もたくさんいます。

また、使ったものをリサイクルせずに全てごみとして出してしまうと、有限である資源がなくなり、快適な生活が出来なくなってしまいます。生活に必須なエアコンや暖房、冷蔵庫なども動かす燃料がなくなって使えなくなってしまいます。

リサイクルしよう！

鹿嶋市は海が近くにあるため、水資源が豊富にあります。それらの水資源を大切に使うために、様々な豆知識から行動を変えていきましょう。

【豆知識】 <°)))多

食品や生活排水などを魚が住めるほどの水に戻すのに必要な水の量

- ・油（大さじ1 20ml）：約6,000L（バスタブ20杯分）
- ・シャンプー（1回分）：約200L
- ・マヨネーズ（大さじ1 15ml）：約3,900L
- ・米のとぎ汁（1回分 500ml）：約1,200L
- ・ビール（コップ1杯分）：約3,000L

スチール缶をリサイクルすると、自動車や冷蔵庫、洗濯機などに使われます。

ガラス瓶をリサイクルすると、ガラス瓶に生まれ変わったり、アスファルトやタイルになったりします。

アルミ缶をリサイクルすると、アルミ缶に生まれ変わります。自動車部品やフライパンなどになります。

ごみとしてではなく、資源として活用することで持続可能な社会を実現しましょう。

【皆さんにやってほしいこと】

●分別ルールを守りましょう！

改めて、ごみの出し方や分別について、見直してみましょう。ちゃんとしたルールがわからない方や分別に困るときは適当に捨てるのではなく、鹿嶋市のホームページに載っている「家庭ごみ・資源の分け方・出し方」などを見ましょう。

- ・ごみひろいをする。→みんなのまわりのごみのちらばりがすくなる
- ・たべのこしをへらす、きゅうしょくはのこさない→食品（しょくひん）ロスといわれる生ごみなどがへる
- ・マイバッグなどくりかえし使（つか）えるものをえらぶ→ぽいすてなどのごみもんだいがかいけつし、まちがきれいになる
- ・シャワーの水をだしっぱなしにしない→ちきゅうじょうにのめる水はかぎりあります。
- ・でんきのむだづかいをしない